

# CCS PIC C コンパイラ PCB/PCM/PCH のインストール

## 1. セットアップ画面

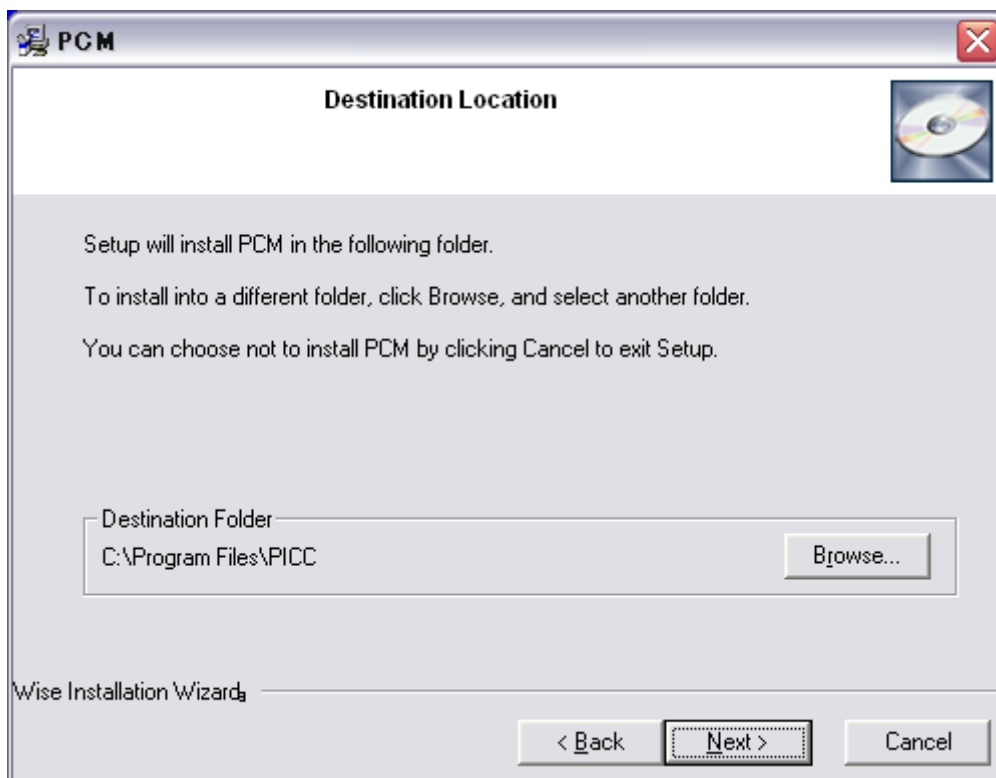
CD-ROM をドライブに挿入すると下記の画面が立ち上がります。



チェックボックスにチェックを入れて Start Install をクリックして下さい。

## 2. セットアップ場所を変更するには

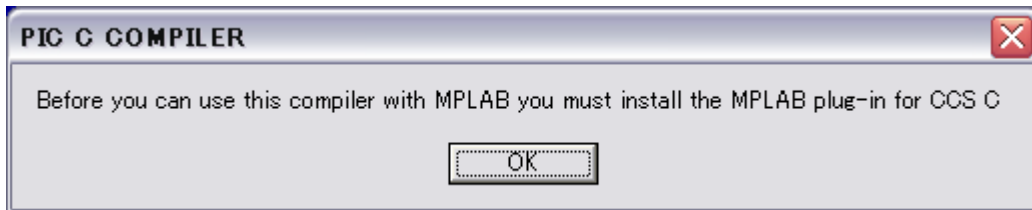
セットアップ途中で次の「セットアップ先変更画面」が現れます。ここでいきます。



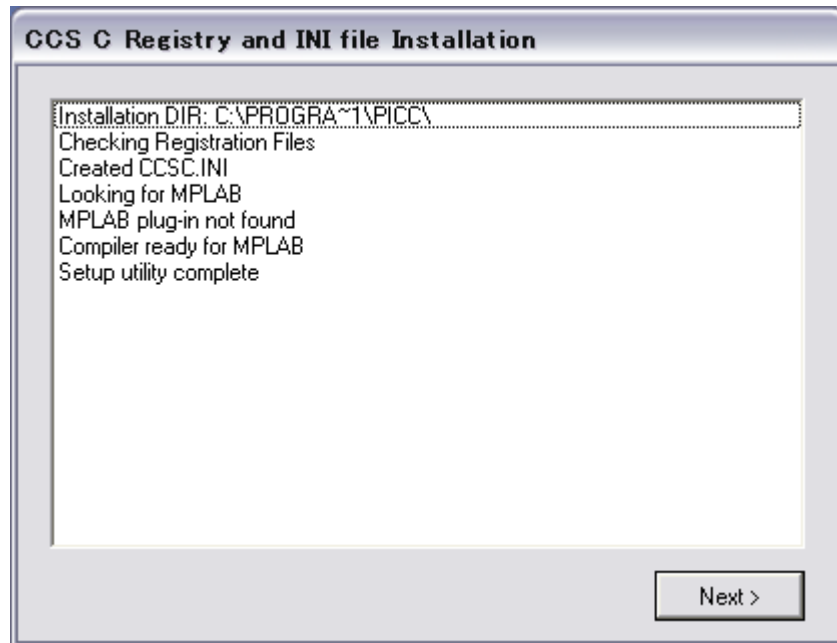
フォルダ名に漢字・かな混じり文(全角)を用いているフォルダは選ばないで下さい。  
デフォルトのままでのご使用をお勧め致します。

3. MPLAB とリンクを貼るために、次のメッセージが現れます。

**MPLAB をすでにインストールされている場合は次の画面が表示されます。**

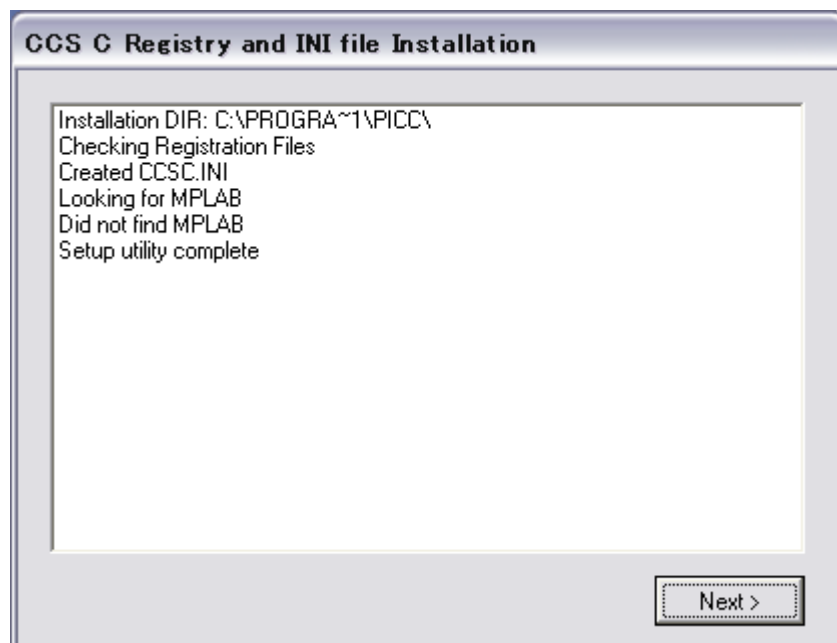


「OK」として頂くと次の画面が表示されます。



この画面にフォーカスが移れば「Next」としてください。画面が閉じます。

**MPLAB のセットアップがまだの場合は次の画面が表示されます。**



この画面にフォーカスが移れば「Next」としてください。画面が閉じます。

**【 MPLAB 6.x 又は、7.x での使用に関して 】**

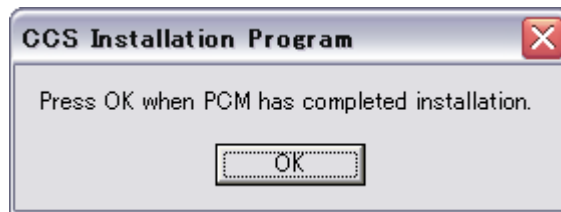
MPLAB 6.x 又は、7.x と統合環境でご使用頂く場合は MPLAB Plug-in ファイルのインストールが必要です。

インストール完了後、下記 URL より MPLAB Plug-in をダウンロードしてインストールのうえご使用下さい。

MPLAB Plug-in ダウンロード URL : <http://www.datadynamics.co.jp/ccs/picc.html>

こちらのページの「MPLAB との統合」の枠内にリンク先とインストール方法がございます。

4 . セットアッププログラムを「OK」で閉じてください。



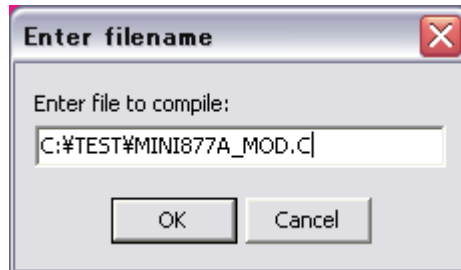
以上述べました4つのステップが基本的なセットアップ手順です。

# PCB/PCM/PCH のコマンドライン・コンパイラの実行

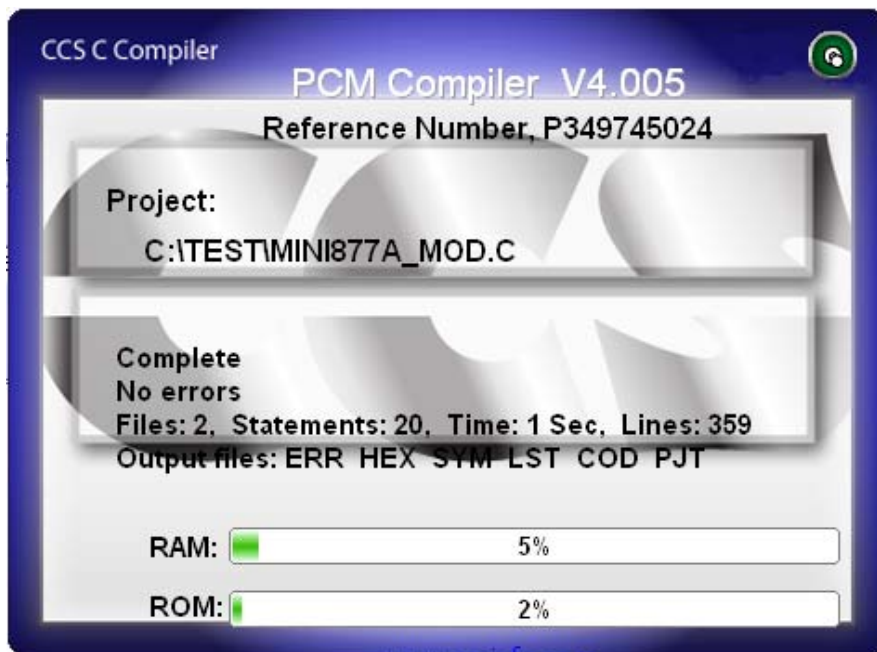
1. PIC C Compiler のアイコンをダブルクリック。



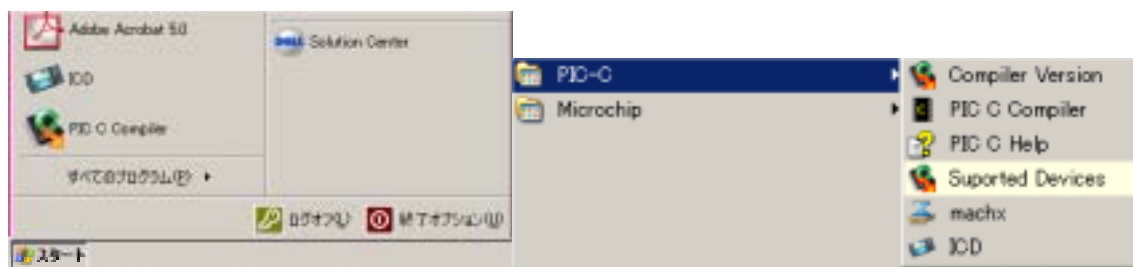
2. コンパイルするソースファイルを指定。



画面のようにソースファイルの格納場所を指定し、OK ボタンをクリックします。  
下記のようにコンパイル結果が画面に表示されソースファイルの格納場所にファイルが生成されます。



コマンドライン・コンパイラのバージョン、サポートデバイスリストなどの確認は下記から。



テクニカル・サポートは E-mail でお願い申し上げます。

(有)データ ダイナミクス / テクニカル・サポート

E-mail アドレス: [support@datadynamics.co.jp](mailto:support@datadynamics.co.jp)

